

月刊

2015年(平成27年)
6月 Vol. 186 新聞折込
大阪府議会議員 活動報告書

1997年6月創刊
1997年6月～9月:週刊
1997年10月～:月刊
発行部数累計:2,605,780部

ただいま活動中!
土井達也

はつきり発言!
じっくり報告!

大阪維新の会
大阪府議会議員
総務・委員長
議会運営委員
大阪維新の会・幹事

土井達也ホームページ
<http://www.tdoi.net/>
115.341人

執筆・印刷:土井達也事務所
住所:〒599-0201 大阪府大阪市
尾崎町93-6尾崎駅山手ビル2F
TEL:072-471-7357
FAX:072-471-8004
E-Mail:t.doi@nifty.com

田尻町・泉南市・阪南市・岬町版

これから4年間、宜しくお願い致します!



平成27年4月12日(日)、統一地方選挙前半の大阪府議会議員選挙におきまして、当選をさせていただきました。皆様の負託に応えるべく、公約実現に全力を傾注して参ります。任期は、平成27年4月30日から平成31年4月29日です。今後4年間、宜しくお願い致します。

大阪府議会 5月定例会



現在、大阪府議会 平成27年5月定例会が始まっています。自分の選挙から、田尻町・岬町議会議員選挙、大阪都構想・住民投票、そして、大阪府議会5月定例会と、ずっと続いています。

この議会は、改選後、これからの大阪府議会を運営していくために、それぞれ役職を決め、体制を整えていく議会です。

私自身は、今年度、総務常任委員会の委員長、そして、会派の大阪維新の会・幹事であるので議会運営委員会の委員、また、大阪府国土利用計画審議会の委員です。

5月定例会 議案の概要について

大阪都構想を店じまいするために、大阪都構想の法定協議会の廃止・大都市局の廃止。

新たな広域一元化の試みでは、「大阪府市連携局」の設置。JR大阪駅北側の「うめきた」再開発や、カジノを含む統合型リゾート施設(IR)の誘致など、府市の関係部局の調整を担う予定。

それから、大阪都構想の対案として、大阪自民さんが主張されていた「大阪戦略調整会議」の設置。

それぞれの議案については、採決日が6月11日なので、まだ決まっていません。否決されるかもしれませんし、継続審議になるかもしれません。

また、他にも議案は多数あります。紙面の都合上、割愛しておりますが、大阪府議会のホームページでは、全議案とその内容、各会派の賛否態度が掲載されていますので、一度ご確認のほど。土井達也のホームページからもリンクしています。



力及ばず、申し訳ありませんでした!

大阪都構想・住民投票(詳細裏面)については、力及ばず結果を出すことが出来ませんでした。心からお詫びを申し上げます。この間、すべての重要案件に、誠心誠意・全力で取組を行って参りました。目指した結果が出た事柄、出なかった事柄それぞれありますが、本当に全力を尽くしきることができました。これも、みなさまのご協力のお陰であると、心から感謝を申し上げます。また、ずっとそれぞれの案件に身を投じていましたので、選挙後のご挨拶に、お伺い出来ておりません。朝立ちも、わずかです。心からお詫び申し上げます。ご容赦とご理解を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

この衰退していく大阪に、何ら、答えが見つかっていないのが、今の大阪の現状

「大阪都構想」の住民投票の結果、反対多数となりました。

その「対案」として主張されていたのが、総合区制度と大阪戦略調整会議です。

しかし、「総合区」については、「急ぐ必要はない」と先送りをほのめかされています。

また、「大阪戦略調整会議」は、左に記載した通り、この5月定例会で議案として上程されていますが、これがなかなかの問題点を含んだ代物。

実は、昨年9月府議会からこの議案書は上程され続けてきたのですが、採決せずに、ずっと継続審議のままだったもの。内容はそのまま、再度、議会に上程されました。

来年4月の改正地方自治法に基づいた、無駄な二重行政を防ぐ目的で設置する道府県と政令市間での「調整会議」とは、どうも別物。

あまりにもズサンな内容なので、我々は「対案」にすら値しないと考えていましたが、こちらの案の方が支持をされました。

サワリだけ問題点を挙げれば、

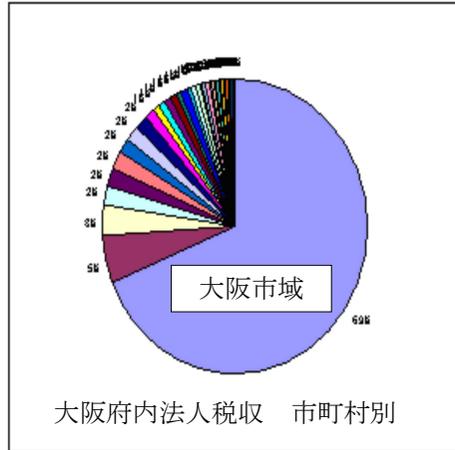
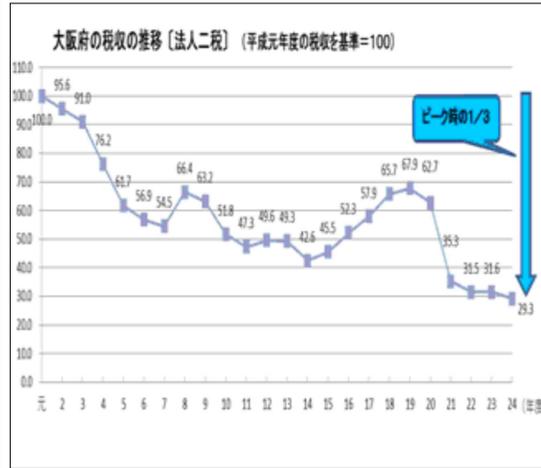
1. 政令市である大阪市と堺市を除く、大阪府内41市町村への大阪府予算が大阪市会と堺市議会によって決定されること。
2. 大阪府知事の予算提案権を侵害すること。

とは言え、つべこべ言っても始まらないので、一度やってみても良いのではと思うのですが、採決は6月11日、またもや継続審議になるかもしれません。

大阪の成長をいかに求めるか?

大阪都構想がダメになった今、大阪の成長をいかに求めていくのか?明確な解(答え)は、まだどこからも出ていません。

大阪府の租税収入の主力は、法人2税（法人府民税、法人事業税）。その法人2税は、現在、ピーク時の「3分の1」まで減少。地方交付税措置で必要最低限は国から賄われているが、自主財源が充実すればするほど府内市町村への再分配は可能になる。



大阪府の租税収入の主力である法人2税（法人府民税、法人事業税）は、大阪府域全体の約70%を占める。堺市域で、約5%。

大阪府が成長のけん引役となり、大阪府の租税収入が増加し、政令市を除く大阪府内41市町村へ税の再分配を行い、それぞれの地域で成長の可能性を高めていく。いずれ、大阪全体で成長をけん引できるようにする。

しかし、大阪府の広域行政（成長分野への投資）の権限は、大阪市。行政の肥大化（横浜市人口370万人：大阪市人口270万人／大阪市の方が職員1万5千人多い）や過剰な住民サービス（敬老パス等）により、広域行政（成長分野への投資）への予算が圧迫されていると言わざるを得ない。

これらの諸問題に解を求めたのが、大阪都構想だったのですがもはやダメ。それでも、まだ上記のどこかを突破することで答えを見つけられるのではないかと考えます。

今後の大阪維新の会について

年代	男性		女性	
	賛成	反対	賛成	反対
70+	61.3%	38.7%	39.5%	60.5%
60+	48.7%	51.3%	51.8%	48.2%
50+	42.2%	57.8%	49.6%	50.4%
40+	33.8%	66.2%	56.1%	43.9%
30+	28.4%	71.6%	55.3%	44.7%
20+	32.9%	67.1%	56.3%	43.7%

左は、大阪都構想・住民投票時の出口調査での年代別・賛否です。50代女性を除いて、20代から60代までの男女すべてにおいて、賛成が上回りました（70代以上で反対多数）。

今回、大阪都構想は否決され、任期満了時点で橋下とおろは政治家引退となりましたが、大阪の改革集団として、そして、次世代へ引き継ぐ成長する大阪を創っていく集団として、

すべてのご支持に応えていくためにあらゆる可能性を探りながら、大阪維新の会は取組を進めていくことを所属議員一堂確認しました。

ダメだったけれど、それでもすごい住民投票でした



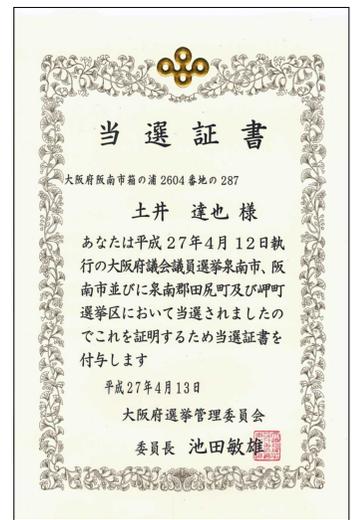
当選証書授与式



あまり知られていませんが、選挙日の翌日、大阪府庁本館2階の大阪府議会第一委員会室で、当選証書授与式が行われます。

この時に渡されるのは、「当選告知書」や「当選証書」、「大阪府議会議員徽章（きしょう）」です。

毎回、私自身が受け取ることはなく、応援を頂いた方々に行ってもらいます。これは、「自分のもの」ではなく、公約に信託頂いた「みなさま全員のもの」と胸に刻むためです。



左の大阪府議会議員徽章（きしょう）は、昭和6年9月から使用され、意匠は、「中央は大阪府の大的字を図案化し、梅の花をかたどっている。梅の花は古今和歌集の序文に詠まれている「なにはづに咲くやこの花冬ごもり今は春べとさくやこの花」という百済より渡来した学者王仁の歌に由来し、この花は梅の花を意味すると同集の序文の註に記され、梅の花は「なには」を象徴する花として今日まで語り伝えられていることによる。周囲の歯車は大阪府の工業を象徴している。」とのこと。

土井達也ホームページ
<http://www.tdoi.net/>